

植物防疫基礎講座

# アブラムシ類の見分け方(3) 野菜のアブラムシ類

宇都宮大学農学部応用昆虫学研究室 <sup>たか</sup>高 <sup>はし</sup>橋 <sup>しげる</sup>滋

## はじめに

近年、外国産の野菜類が小売店で若干値の高い同じ種類の国産のものと並んで売られている。しかし、国産と表示されているが、歴史的には、日本の土着種から山菜として利用され、さらに畑などに栽培されるようになった純国産の野菜はミツバ、ウド、ハス、フキ、ワサビなどに限られており、ほとんどの野菜は諸外国から導入され、栽培されるようになった。このことは、日本に分布している野菜の害虫となっているアブラムシを調べるとき、諸外国の情報も必要としている。

このことから、野菜類を加害するアブラムシは、同時に野菜類とともに侵入した種が多く、日本でも、ある野菜の世界中の栽培地帯で共通種となっている種が多いのが特徴である。さらに、広食性のワタアブラムシやモモアカアブラムシなどでは殺虫剤抵抗性系統が出現し、難防除害虫となり、問題ともなっている。

今回、作成が面倒で細かい作業が必要なプレパラート作成をしないで、できるだけ生きている無翅胎生雌虫成虫の肉眼や低倍率の拡大鏡などによる外部形態観察・生体時の体色・寄生部位・寄生状況などで同定できるように、また比較級的な表現を少なくして、判定に紛れが少なく簡便な検索表を作成しようとした。しかし、近縁種や細部を検討しないと同定できない種などではプレパラートの顕微鏡観察による相違点も検索表に入れた。

また、各種野菜類のアブラムシの検索表の後に、新しく出てきた種に通し番号をつけ、和名と学名を入れた。

## I 野菜類を加害するアブラムシ類の検索表

### 1 果菜類

(1) ウリ類 (キュウリ・スイカ・メロン・カボチャなど)

田中 (1976) によれば、ウリ類には、ワタアブラムシ、モモアカアブラムシ、ニワトコヒゲナガアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシ、オカボノアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシが寄生するとしている

Identification of Aphids (3) Aphids on Vegetables. By Shigeru TAKAHASHI  
(キーワード: アブラムシ, 無翅虫, 検索表, 野菜類)

(以後、同じ種が本文中に2回以上出てきたとき、和名のアブラムシは省略するのを原則とするが検索表では省略しない)。しかし、オカボノアカはイネ科、ニセダイコンはアブラナ科植物を寄主としている少食性のアブラムシで、時々、1~2匹がウリ類で発見されても、増殖はしないと考えられるので検索表から除外した。

- 1) 新葉を表から裏へ巻き縮葉してその中に寄生する。生体時の体色は濃緑色で、さらに濃色の個体は黒色に見える。腹部体側突起が第1, 7腹節には必ず存在する。……………ワタアブラムシ  
— 葉を巻くことはない。生体時の体色は緑色か濁赤色である。腹部体側突起がない。……………2)
- 2) 角状管は準円柱状である。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ  
— 角状管はわずかに膨れる。……………3)
- 3) 脚の脛節は黒色である。……………ニワトコヒゲナガアブラムシ  
— 脚の脛節は基部と先端部が黒色でそれ以外は明色である。……………モモアカアブラムシ

- ① ワタアブラムシ *Aphis gossypii* GLOVER
- ② ジャガイモヒゲナガアブラムシ *Aulacorthum solani* (KALTENBACH)
- ③ ニワトコヒゲナガアブラムシ *Aulacorthum magnoliae* (ESSIG and KUWANA)
- ④ モモアカアブラムシ *Myzus persicae* (SULZER)

### (2) イチゴ

田中 (1976) などによれば、イチゴを加害するアブラムシとしてはイチゴクギケアブラムシ、イチゴケナガアブラムシ、イチゴネアブラムシ、バラミドリアブラムシ、チューリップヒゲナガアブラムシ、ジャガイモヒゲナガ、ワタ、モモアカ、ムギヒゲナガアブラムシが記録されている。しかし、この中でムギヒゲナガはイネ科植物を寄主とするアブラムシでイチゴでは増殖しないと考え、検索表から除外した。

- 1) 生体時の体色は白色から淡黄色である。体の刺毛の先端部は膨れ、釘状である。……………2)  
— 生体時の体色は緑色、濃緑色、褐色、濁赤色である。体の刺毛は先端部が尖る。……………3)
- 2) 腹部背面中央部に短い釘状の刺毛が縦に2列並ぶ。

- ……………イチゴクギケアブラムシ
- 腹部背面中央部から体側部にかけて長い釘状の刺毛が縦に4列並ぶ。……………イチゴケナガアブラムシ
- 3) 体色は濃緑色、褐色。腹部体側突起が第1, 7腹節に必ず存在する。……………4)
- 体色は緑色、濁赤色。腹部体側突起がない。…5)
- 4) 地際の茎や根に寄生する。口吻は長く、その先端部は後脚の基部をはるかに越える。……………イチゴネアブラムシ
- 地上部に寄生する。口吻の先端部は後脚の基部を越えない。……………ワタアブラムシ
- 5) 角状管は準円柱状である。……………6)
- 角状管はわずかに膨れる。……………8)
- 6) 角状管の先端に明瞭な網目模様がある。……………チューリップヒゲナガアブラムシ
- 角状管には網目模様がなく、わずかに瓦状の模様がある。……………7)
- 7) 頭部に明瞭な額瘤間中央突起がある。……………バラミドリアブラムシ
- 頭部に額瘤間中央突起がない。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ
- 8) 額瘤は発達し、内側に突出する。……………モモアカアブラムシ
- 額瘤はU字状である。……………ニワトコヒゲナガアブラムシ
- ⑤ イチゴクギケアブラムシ *Chaetosiphon minor* (FORBES)
- ⑥ イチゴケナガアブラムシ *Chaetosiphon fragaefolii* (COCKERELL)
- ⑦ イチゴネアブラムシ *Aphis forbesi* WEED
- ⑧ チューリップヒゲナガアブラムシ *Macrosiphum euphorbiae* (THOMAS)
- ⑨ バラミドリアブラムシ *Rhodobium porosum* (SANDERSON)

(3) ナス科果菜(トマト, ナス, トウガラシ, ピーマンなど)

- 田中(1976)によれば、ナス科果菜にはワタ, モモアカ, チューリップヒゲナガ, ジャガイモヒゲナガ, ニワトコヒゲナガ, オカボノアカが寄生するとしているが、オカボノアカは前述した理由で検索表から除外した。
- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節には必ず存在する。……………ワタアブラムシ
  - 腹部体側突起を欠く。……………2)
  - 2) 角状管の先端部に網目模様がある。……………チューリップヒゲナガアブラムシ

- 角状管に網目模様がな。……………3)
- 3) 角状管は準円柱状である。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ
- 角状管はわずかに膨れる。……………4)
- 4) 触角はすべて黒色。…ニワトコヒゲナガアブラムシ
- 触角の各節の先端部と基部が黒色であるが、ここ以外は白色。……………モモアカアブラムシ
- (4) エンドウ
- 田中(1976)はエンドウを加害するアブラムシとしてエンドウヒゲナガアブラムシ, ジャガイモヒゲナガ, コンドウヒゲナガアブラムシ, モモアカ, マメアブラムシの5種をあげている。
- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。体色は暗褐色～黒色で成虫は光沢がある。……………マメアブラムシ
- 腹部体側突起がない。……………2)
- 2) 無翅虫の触角第3節に第二次感覚孔を欠く。……………モモアカアブラムシ
- 無翅虫の触角第3節に第二次感覚孔がある。…3)
- 3) 角状管は黒色で非常に長く、中間部の幅の約20倍の長さがある。尾片には10本以上の刺毛がある。……………エンドウヒゲナガアブラムシ
- 角状管は先端部のみ黒色で、中間部の幅の約20倍以下。尾片には10本以下の刺毛がある。……………4)
- 4) 角状管は、中間部の幅の約15倍の長さがある。……………コンドウヒゲナガアブラムシ
- 角状管は、中間部の幅の約10倍の長さがある。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ
- ⑩ マメアブラムシ *Aphis craccivora* KOCH
- ⑪ エンドウヒゲナガアブラムシ *Acyrtosiphon pisum* (HARRIS)
- ⑫ コンドウヒゲナガアブラムシ *Acyrtosiphon kondoi* SHINJI
- (5) ソラマメ
- 田中(1976)は、ソラマメを加害するアブラムシとしてマメ, ソラマメヒゲナガアブラムシ, モモアカ, ニワトコヒゲナガをあげている。しかし、筆者らの観察ではさらにマメクロアブラムシ, エンドウヒゲナガ, コンドウヒゲナガの3種を確認した。
- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。……………2)
- 腹部体側突起がない。……………3)
- 2) 尾片には10本以上の刺毛。体色は暗褐色～黒色で、成虫に光沢がない。……………マメクロアブラムシ
- 尾片には5～6本の刺毛。体色は暗褐色～黒色で、成虫に光沢がある。……………マメアブラムシ
- 3) 無翅虫の触角第3節に第二次感覚孔を欠く。

- .....モモアカアブラムシ
- 無翅虫の触角第3節に第二次感覚孔がある。...4)
- 4) 角状管は膨れる。体色は光沢のある緑色。.....5)
- 角状管は細長い円柱状。体色は緑色で光沢はない。.....6)
- 5) 無翅虫の触角第3節には2~3個の第二次感覚孔がある。.....ニワトコヒゲナガアブラムシ
- 無翅虫の触角第3節には20~30個の多数の第二次感覚孔がある。.....ソラマメヒゲナガアブラムシ
- 6) 頭部前面は深いV字状のくぼみがある。角状管は黒色で非常に長く、中間部の幅の約20倍の長さがある。尾片には10本以上の刺毛がある。

.....エンドウヒゲナガアブラムシ

— 頭部前面は浅いU字状のくぼみがある。角状管は先端部のみに暗色部があり、中間部の幅の約15倍の長さがある。尾片には10本以下の刺毛がある。

.....コンドウヒゲナガアブラムシ

- ⑬ マメクロアブラムシ *Aphis fabae fabae* SCOPOLI
- ⑭ ソラマメヒゲナガアブラムシ *Megoura crassicauda* MORDVILKO

(6) インゲン

田中 (1976) は、インゲンを加害するアブラムシとしてマメ、ワタ、ジャガイモヒゲナガを記録している。

- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。無翅虫の触角第3節には第二次感覚孔がない。.....2)
- 腹部体側突起を欠く。無翅虫の触角第3節には1~2個の第二次感覚孔がある。

.....ジャガイモヒゲナガアブラムシ

- 2) 体色は暗褐色~黒色。成虫には光沢がある。

.....マメアブラムシ

- 体色は濃緑色, 淡褐色。成虫には光沢がない。

.....ワタアブラムシ

2 根菜類

(1) ゴボウ

田中 (1976) によると、ゴボウにはゴボウクギケアブラムシ, ゴボウヒゲナガアブラムシ, ヨモギオナガアブラムシ, モモアカ, ジャガイモヒゲナガ, ネワタムシの1種が寄生するとしているが、ネワタムシの1種は正体が不明であったので検索表から除外した。

- 1) 角状管に網目模様がある。.....2)
- 角状管に網目模様がなない。.....3)

- 2) 生体時の体色は黒色。...ゴボウヒゲナガアブラムシ
- 生体時の体色は黄緑~緑色。

.....ヨモギオナガアブラムシ

- 3) 生体時の体色は黄~黄緑色。

.....ゴボウクギケアブラムシ

- 生体時の体色は緑, 濁赤色。.....4)

- 4) 角状管はわずかに膨れる。.....モモアカアブラムシ

— 角状管は準円柱状。

.....ジャガイモヒゲナガアブラムシ

- ⑮ ゴボウヒゲナガアブラムシ *Uroleucon (Uromelan) gobonis* (MATSUMURA)

- ⑯ ヨモギオナガアブラムシ *Macrosiphoniella (Phalangomyzus) grandicauda* TAKAHASHI and MORITSU

- ⑰ ゴボウクギケアブラムシ *Capitophorus elaeagni* (del GUERCIO)

(2) ニンジン

田中 (1976) などは、ニンジンアブラムシ, ニンジンフトオアブラムシ, モモアカ, ヤナギフトオアブラムシがニンジンを加害するとしている。

- 1) 腹部第8節の背面中央部に尾片状突起(上尾板)があり、尾片が2本あるように見える。.....2)

— 腹部第8節に上尾板を欠く。.....3)

- 2) 触角第6節の基部は鞭状部より長い。

.....ニンジンフトオアブラムシ

— 触角第6節の基部は鞭状部より短い。

.....ヤナギフトオアブラムシ

- 3) 角状管は尾片より長く、やや膨れる。体に光沢がある。.....モモアカアブラムシ

— 角状管は尾片より短い。体には光沢がなく、白いロウ物質で覆われる。.....ニンジンアブラムシ

- ⑱ ニンジンフトオアブラムシ *Cavariella aegopodii* (SCOPOLI)

- ⑲ ヤナギフトオアブラムシ *Cavariella salicicola* (MATSUMURA)

- ⑳ ニンジンアブラムシ *Semiaphis heraclei* (TAKAHASHI)

(3) アブラナ科(ダイコン・カブ)

田中 (1976) は、アブラナ科根菜に寄生するアブラムシとしてニセダイコンアブラムシ, モモアカ, ダイコンアブラムシをあげている。

- 1) 体は灰白色のロウ物質で覆われる。角状管は尾片より短い。ダイコン・カブにほとんど寄生しない。

.....ダイコンアブラムシ

— 体はロウ物質で覆われない。角状管は尾片より長い。ダイコン・カブによく寄生する。.....2)

- 2) 角状管は尾片の約1.2倍で準円柱状。

.....ニセダイコンアブラムシ

— 角状管は尾片の約2倍でやや膨れる。

- ……………モモアカアブラムシ
- ⑳ ダイコンアブラムシ *Brevicoryne brassicae* (LINNAEUS)
- ㉑ ニセダイコンアブラムシ *Lipaphis erysimi* (KALTENBACH)
- (4) ヤマノイモ類 (ナガイモ・ヤマトイモ・ツクネイモなど)
- 田中 (1976) は、ヤマノイモ・ナガイモを加害するアブラムシとしてニワトコヒゲナガ、ムギヒゲナガアブラムシをあげている。しかし、ムギヒゲナガはヤマノイモ類で増殖しているのを見たことがないので検索表から除外した。筆者らの観察でヤマノイモ類でのジャガイモヒゲナガの寄生・増殖を確認したので検索表に加えた。
- 1) 夏から秋まで連続して見られる。特に成長点に近い茎や葉に寄生する。角状管は黒色で膨れる。……………ニワトコヒゲナガアブラムシ
- 葉裏に寄生することが多い。角状管は体色とほぼ同じで明るく、膨れない。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ
- (5) ハス・クワイ
- 田中 (1976) があげているように、ハス・クワイにはハスクビレアブラムシのみが寄生する。
- ㉒ ハスクビレアブラムシ *Rhopalosiphum nymphaeae* (LINNAEUS)
- 3 葉菜類
- (1) アブラナ科 (キャベツ・ハクサイ・カリフラワー・ブロッコリーなど)
- 1) 体は灰白色のロウ物質で覆われる。折り重なるように群生することが多い。ハクサイにはほとんど寄生しない。……………ダイコンアブラムシ
- 体はロウ物質で覆われない。……………2)
- 2) 腹部背面に長楕円形の褐色の斑紋が各節にある。キャベツ・カリフラワー・ブロッコリーにはほとんど寄生しない。体色は緑色。……………ニセダイコンアブラムシ
- 腹部背面に斑紋がない。体には光沢があり、体色は緑色と濁赤色の2系統がある。……………モモアカアブラムシ
- (2) レタス
- 田中 (1976) では、レタスにはタイワンヒゲナガアブラムシ、チシャミドリアブラムシ、ノゲシフクレアブラムシ、ジャガイモヒゲナガ、モモアカが寄生するとしている。
- 1) 角状管は準円柱状。……………2)
- 角状管は膨れる。……………3)
- 2) 角状管に網目状模様がある。体色は赤色。……………タイワンヒゲナガアブラムシ
- 角状管に網目状模様を欠く。体色は緑色。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ
- 3) 体に光沢がある。……………モモアカアブラムシ
- 体に光沢がなく、薄くロウ物質で覆われる。……………4)
- 4) 角状管は強く膨れ、尾片の長さの約1.6倍の長さがある。触角第6節の鞭状部の長さは基部の6倍以上。……………チシャミドリアブラムシ
- 角状管はわずかに膨れ、尾片の1.3倍。触角第6節の鞭状部は基部の6倍以下。……………ノゲシフクレアブラムシ
- ㉓ タイワンヒゲナガアブラムシ *Uroleucon formosanum* (TAKAHASHI)
- ㉔ チシャミドリアブラムシ *Hyperomyzus lactucae* (LINNAEUS)
- ㉕ ノゲシフクレアブラムシ *Hyperomyzus carduelinus* (THEOBALD)
- (3) キク
- 田中 (1976) は、キクを加害するアブラムシとしてワタ、キクヒメヒゲナガアブラムシ、キククギケアブラムシ、キククビレアブラムシ、ヨモギヒメヒゲナガアブラムシ、オカボノアカをあげている。しかし、オカボノアカはキクでは増殖しないと考え、検索表から除いた。
- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。体色は濃緑、褐色。……………ワタアブラムシ
- 腹部体側突起がない。……………2)
- 2) 角状管は尾片より長く、網目状模様がない。体の刺毛は釘状。……………3)
- 角状管は尾片より短く、網目状模様がある。体の刺毛は先が尖る。……………4)
- 3) 体色は緑色。角状管は褐色。……………キククビレアブラムシ
- 体色は淡緑色。角状管は淡緑色で非常に長い。……………キククギケアブラムシ
- 4) 体色は濃赤紫色。脚の脛節は先端と基部が黒色で中間部は黄色。……………キクヒメヒゲナガアブラムシ
- 体色は褐色。脚の脛節は黒色で中間部の一部がやや明色。……………ヨモギヒメヒゲナガアブラムシ
- ㉖ キククビレアブラムシ *Coloradoa rufomaculata* (WILSON)
- ㉗ キククギケアブラムシ *Plectrarchophorus glandulosus* (KALTENBACH)
- ㉘ キクヒメヒゲナガアブラムシ *Macrosiphoniella sanborni* (GILLETTE)
- ㉙ ヨモギヒメヒゲナガアブラムシ *Macrosiphoniella*

(*Phalangomyzus*) *yomogicola* (MATSUMURA)

(4) フキ

田中 (1976) は、フキを加害するアブラムシとしてフキアブラムシ、ヨモギオナガアブラムシ、モモアカ、ワタ、ジャガイモヒゲナガをあげている。

- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節に必ず存在する。…2)
  - 腹部体側突起を欠く。……………3)
- 2) 葉を表から裏に巻葉してその中に寄生。生体時の体色は茶色。腹部第8節背面の刺毛は4本の個体が多い。……………フキアブラムシ
  - 葉を巻かない。体色は濃緑色、濁淡褐色。腹部第8節の刺毛は2本。……………ワタアブラムシ
- 3) 角状管はわずかに膨れる。……モモアカアブラムシ
  - 角状管は準円柱状。……………ジャガイモヒゲナガアブラムシ

⑩ フキアブラムシ *Aphis fukii* SHINJI

(5) ミツバ

田中 (1976) によれば、ミツバを含むセリ科葉菜類を加害するアブラムシはセリスナヨセアブラムシ、ニンジンフトオ、ヤナギフトオ、ニンジン、シクラメンコブアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ワタ、モモアカ、シラネセンキュウフトオアブラムシ、セリフクレアブラムシ、ニセダイコンとなっている。

この中で、シクラメンコブとニセダイコンはミツバ上で繁殖しているのを筆者は見えていないので、検索表から除外した。

- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。……………2)
  - 腹部体側突起がない。……………3)
- 2) 体色は黄～黄緑色。尾片の刺毛は約8本。……………ユキヤナギアブラムシ
  - 体色は濃緑、褐色。尾片の刺毛は約6本。……………ワタアブラムシ
- 3) 腹部第8節背面に上尾板がある。……………4)
  - 腹部第8節背面に上尾板がない。……………5)
- 4) 上尾板は尾片よりやや短い。体色は緑色。……………ニンジンフトオアブラムシ
  - 上尾板は短く、尾片の半分以下。体色は淡褐色。……………シラネセンキュウフトオアブラムシ
- 5) 角状管は尾片より短い。体は薄くロウ物質で覆われる。……………ニンジンアブラムシ
  - 角状管は尾片より長い。体はロウ物質で覆われない。……………6)
- 6) 角状管は準円柱状。地際に寄生。……………セリスナヨセアブラムシ
  - 角状管は膨れる。……………7)

- 7) 角状管は先端近くで棍棒状に強く膨れる。……………セリフクレアブラムシ

……………モモアカアブラムシ

- ⑩ ユキヤナギアブラムシ *Aphis spiraeicola* PATCH
- ⑪ シラネセンキュウフトオアブラムシ *Cavariella japonica* (ESSIG & KUWANA)
- ⑫ セリスナヨセアブラムシ *Cavariella (Cavariella) linepicauda* oenanthi (SHINJI)
- ⑬ セリフクレアブラムシ *Amphorophora (Galiphis) cryptotaeniae* (TAKAHASHI)

(6) セロリー

セロリーにはニンジン、シクラメンコブアブラムシが寄生する。

- 1) 角状管は尾片より短い。体は薄くロウ物質で覆われ、模様はない。……………ニンジンアブラムシ
  - 角状管は尾片より長い。体はロウ物質で覆われず、腹部背面に大きな黒色の斑紋がある。……………シクラメンコブアブラムシ

- ⑭ シクラメンコブアブラムシ *Aulacorthum (Neomyzus) circumflexum* (BUCKTON)

(7) セリ

セリにはセリフクレ、セリスナヨセ、ニンジンの3種のアブラムシが寄生する。

- 1) 葉を巻いて地上部に寄生する。角状管は尾片より短い。体は薄くロウ物質で覆われる。……………ニンジンアブラムシ
  - 地際の茎などに寄生する。角状管は尾片より長い。体はロウ物質で覆われない。……………2)
- 2) 角状管は準円柱状。体の全面が多数の丸い乳頭突起で覆われる。……………セリスナヨセアブラムシ
  - 角状管は先端近くで強く膨れる。体に丸い乳頭突起がない。……………セリフクレアブラムシ

- (7) シュンギク
  - シュンギクにはワタ、モモアカの2種のアブラムシが寄生する。
  - 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。体色は濃緑、淡褐色。……………ワタアブラムシ
    - 腹部体側突起がない。体色は緑、濁赤色の2系統がある。……………モモアカアブラムシ

(3) シソ  
田中 (1976) は、シソを加害するアブラムシとしてシソヒゲナガアブラムシ、ワタ、シソネアブラムシの3種を記録している。

- 1) 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。体色は黄、濃緑色。葉を表から裏に巻いてその中に寄生。

- .....ワタアブラムシ
- 腹部体側突起がない。葉などを変形しない。...2)
  - 2) 無翅虫の触角第3節に第二次感覚孔を欠く。地際の茎や根に寄生する。体色は濃緑色。
  - .....シソネアブラムシ
  - 無翅虫の触角第3節に第二次感覚孔がある。成長点に近い葉や茎に寄生。体色は白と赤のまだら色。
  - .....シソヒゲナガアブラムシ
  - ③7 シソネアブラムシ *Micromyzodium nipponicum* (MORITSU)
  - ③8 シソヒゲナガアブラムシ *Aulacorthum (Perillaphis) perillae* (SHINJI)
  - (9) ウド
  - 田中 (1976) は、ウドアブラムシ、ウドフタオアブラムシ、ハゼアブラムシがウドに寄生するとしている。
  - 1) 腹部体側突起がない。腹部第8節背面中央部に上尾板がある。体色は白色～淡黄色～淡緑色。
  - .....ウドフタオアブラムシ
  - 腹部体側突起が第1, 7腹節にある。腹部第8節に上尾板がない。.....2)
  - 2) 腹部に発音用のヤスリ状の突起列がある。体色は褐色。.....ハゼアブラムシ

- 腹部に発音用のヤスリ状の突起列がない。体色は黄～黄緑色。葉を激しく縮葉してその中に寄生。
- .....ウドアブラムシ
- ③9 ウドフタオアブラムシ *Cavariella araliae* TAKAHASHI
- ④0 ハゼアブラムシ *Toxoptera odinae* (van der Goot)
- ④1 ウドアブラムシ *Aphis acanthopanaci* MATSUMURA
- (10) ネギ類 (ネギ・ラッキョウ・ニラ・ワケギ・タマネギなど)
- これらのユリ科野菜に寄生し、増殖するアブラムシは体色が黒色で光沢があるネギアブラムシのみで、他の種類のアブラムシが一時的に見られることもあるが、増殖することはない。
- ④2 ネギアブラムシ *Neotoxoptera formosana* (TAKAHASHI)
- (11) ホウレンソウ
- 田中 (1976) は、ホウレンソウを加害するアブラムシとして、モモアカ、ワタをあげている。この2種のうちワタはほとんど寄生しないとしている。

引用文献

1) 田中 正 (1976) : 野菜のアブラムシ, 日本植物防疫協会, 東京, 220 pp.

主な次号予告

次号8月号に予定されている記事は次のとおりです。

青枯病研究の最近の動向—第3回国際青枯病シンポジウムから— 土屋健一

アルファルファタコゾウムシ寄生蜂の定着と今後の利用法 奥村正美

ナシ病害防除における殺菌剤散布回数削減と問題点 梅本清作他

スギ花粉飛散数に基づく果樹カメムシ類の発生量予測 森下正彦

ホソヘリカメムシ集合フェロモンとその一成分による天敵卵寄生蜂の誘引 水谷信夫他

クワ炭疽病の発生生態と拮抗細菌による発病抑制 吉田重信

農薬環境動態調査の現状 高橋義行他

リレー随筆：産地、今

(7) 静岡県のセルリー産地から 古木孝典

新微生物殺菌剤：シュードモナス・フルオレッセン

ス剤の使い方 前川義雄

定期購読者以外のお申込みは至急前金にて本会へ  
定価1部920円 送料76円